

西光寺だより

第六十六号 平成二八年 二月一日発行

●今月のことば●

今年も早や一カ月が過ぎました。寒い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。

一月には九日〜十六日まで京都西本願寺にて御正忌報恩講が厳修され、全国から数多くの僧侶・門徒の皆様が参拝に来られました。この法要にも『正信偈』のお勤めがされており、改めて親鸞聖人の「全ての人が本当の幸せになれる思い」を深く感じることであります。

さて去年に引き続き『正信偈』について学びたいと思います。

今回は、帰敬頌(きききょうじゆ)とよばれる最初の二句から依経段(えききょうだん)の『必至滅度願成就』までの解説をさせていただきますので、よろしく願います。

上が正信偈の語で、下が訳となっています。

帰命無量寿如来 かぎりなき『いのち』の如来に帰依し

南無不可思議光 かぎりなき『ひかり』の如来に南無したてまつります

法蔵菩薩因位時 (阿弥陀如来が) 法蔵菩薩と名のられていた時

在世自在王仏所 師の**世自在王仏**の所(みもと)にあらわれて

都見諸仏浄土因 諸仏の浄土の建立のいわれや、そこにどうしたら往生できるか

国土人天之善悪 また、その国土のありさまと、そこに往生している人々の善悪を観察され

建立無上殊勝願 このうえもないすぐれた願(第十八願)をおたてになり

超発希有大弘誓 いまだかつてなかったすぐれて大きい誓いをおたてになり
五劫思惟之摂受 そして**五劫(ごこう)**という長い時間、思惟を重ねておさ

めとり

重誓名声聞十方 重ねて**名声(名号)**を十方に聞かせて救うと誓われました
普放無量無辺光 (阿弥陀如来の) あまねく放たれる「量りない光」 「際限のない光」

無碍無对光炎王 「何ものにも碍げられない光」 「**对(ならび)**なき光」

清浄歡喜智慧光 「**最高の輝きをもつ光**」

不斷難思無称光 「**清浄(しようじょう)な光**」 「**歡喜(かんぎ)の光**」

超日月光照塵刹 「**智慧(ちえ)の光**」

一切群生蒙光照 「**断えることのない光**」 「思いはかり難い光」

本願名号正定業 「**称(とな)えつくせぬ光**」

至心信樂願為因 「太陽や月を超えた光」を放ち数え切れない世界を照らし
成等覚証大涅槃 すべて*のいのち*もあるものが、この光明に照らされている

必至滅度願成就 本願名号正定業 **本願成就の名号**は、正しく浄土往生が決定するための行であり

かならず成仏させるといふ、仏の願いが完成したからです
お名号をいただく信心によって、私は救われるのです
この世で仏になるべき身に定まり、お浄土で覚(さと)りをひらくのは

(法蔵館正信偈もの知り帳・レッツ正信偈参考)

ここまでが親鸞聖人の信心の表明と阿弥陀仏の願いの部分であります。出来るだけ分かりやすい訳文を選んで書かせて頂きました。太文字・線で書かれた箇所はくわしい解説です。

【解説】

●法蔵菩薩・・・阿弥陀如来の修行時の名。

法蔵菩薩は、煩惱のために苦しむ衆生を救い取って仏にする願い(本願力)を起こされました。どうすれば力のないものを救い幸せにできるだろうか、どうすれ

ば仏にすることができたらどうかと考え続けられました。そして、私たちのすべてを知り尽くされたうえで、「今の、そのままのあなたをどうしても助けたい」と一切の条件をつけないで救い取ることを誓われ(誓願)、言葉では言い表せない、それはそれはたいへんな苦労を重ねられました。法蔵菩薩は、ついにその誓いを成就されて阿弥陀如来(阿弥陀さま)となられ、安らかで浄らかなお浄土(極楽浄土)を設けるにいたしました。仏さまとなられた阿弥陀さまは、「私の声が聞こえますか。私があなたを助けます」と呼びかけられました。「あなたを必ず仏にします」と約束してくださいました。大きな言葉です。自分の存在を知らせるために、阿弥陀さまは自らの名をもって呼びかけられました。「南無阿弥陀仏」と。

● **世自在王仏** ・ 法蔵菩薩 (阿弥陀如来) の師仏。

● **第十八願** ・ 『至心信樂 (しんしんぎょう) の願』 とよばれ、「あらゆる衆生が、信心と念仏とによって浄土に生まれることができなかつたならば、私はさとりを開かない」と、衆生が浄土へ往生することと、法蔵菩薩自身がさとりを開くことを誓った願です。

● **五劫** ・ 法蔵菩薩が発願して、浄土の建立と衆生の救済をはかるために思惟された気の遠くなるような長い時間が五劫。一劫はおよそ四億三二〇〇万年なので、その五倍。

● **名聲 (名号)** ・ 南無阿弥陀仏の名号

● **対なき光** ・ 阿弥陀仏の光明は、他の諸仏のどの光明よりもすぐれた光明

● **最高の輝きをもつ光** ・ 光明の中で最もすぐれた光明の仏

● **清浄な光** ・ 衆生のむさぼりを除く清らかな光

● **歓喜の光** ・ 衆生のいかりを除き喜びを与える光

● **智慧の光** ・ 衆生のまどいを除き智慧を与える光

● **断えることのない光** ・ 常に阿弥陀仏の救済し続け、はたらい下さる光

● **称えつくせぬ光** ・ 説き尽くすことができず、言葉も及ばない光

● **本願成就の名号** ・ 「南無阿弥陀仏」のこと

◆ 二・三月の行事 ◆

・ 三月三日(木) ～ 四日(金)

茨木東組念仏奉仕団

京都 西本願寺

◆ 先月の報告 ◆

① 一月一日西光寺本堂にて元旦会の法要をさせていただき、一年の始まりにこうして皆様と正信偈のお勤めをし、心新たに新年を迎える事ができました。

② 平成二十七年茨木東組子育て支援プログラムが、総持寺の常稱寺さんで**三月六日(日) 十時三〇分～十二時三〇分**、行われる事となりました。去年は四月に西光寺で行いました。今回は、念珠作り・エプロンシアー・マジックショーなど、てんこ盛りで行う予定でございます。

締切は**二月二十八日(日)**です。小学生低学年・幼児と保護者の皆さん、ドシドシ参加下さい。宜しくお願いします。 合掌



元旦会法要

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七―二

電話 ○七二―六二二―四七九四

FAX ○七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>